



NEWS RELEASE

報道資料
2007年7月18日
(日本時間)

アプライド マテリアルズ
ソーラー最先端研究開発責任者に
クリス・エバスパチャーを任命

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 7 月 16 日 (現地時間)、クリス・エバスパチャー (Chris Eberspacher) をソーラービジネスグループの最先端研究開発責任者に迎えたことを発表しました。エバスパチャーはシリコンならびに非シリコン系太陽電池材料の研究開発を統括する責務を担い、ソーラービジネスグループ最高技術責任者 (CTO) ウィンフリート・ホフマンに直属します。アプライド入社以前は、フレキシブルな薄膜太陽電池を専門とする新興ソーラー企業、ナノソーラー (Nanosolar, Inc.) で主任研究員を務めていました。

「アプライド マテリアルズに加わることができ、嬉しく思っています。アプライド マテリアルズは世界水準のメーカーならではのノウハウ、実績、リソースを持ち、太陽発電が従来の電力と競争できるような低コストの量産インフラをソーラー業界に提供するというユニークな企業です。」とエバスパチャーは述べています。

エバスパチャーはスタンフォード大学で応用物理学博士号を取得した後、25 年間にわたって最先端のソーラー開発に携わり、特に CIGS (銅-インジウム-ガリウム-セレン) 系の薄膜太陽電池技術への多大な貢献で知られています。最初に勤務した ARCO Solar (後の Siemens Solar Industries) では結晶シリコンと薄膜太陽電池技術の開発チームのリーダーを務め、最近ではユニサン (Unisun) およびナノソーラーにおいてナノパーティクルによる CIGS 薄膜太陽電池技術に画期的な貢献をもたらしています。

アプライド マテリアルズのバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー (ソーラービジネスグループ)、チャーリー・ゲイは、「当グループの事業と技術が大きく伸びようとしている今、クリスをチームの一員に迎えることができ、大いに喜んでいますが。彼は先進的な光電変換分野での豊富な実績を活かし、ナノマニュファクチャリングの次世代イノベーションを推進して太陽光発電のさらなるコスト削減を実現してくれるでしょう」と語っています。

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html（日本語）でもご覧いただけます。

このリリースは 7 月 16 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
